

## 2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年8月6日

上場会社名 かどや製油株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2612 URL <http://www.kadoya.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 二郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 戸倉 章博 TEL 03-3492-5545  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	8,692	—	1,595	—	1,668	—	1,168	—
2018年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 1,269百万円 (-%) 2018年3月期第1四半期 一百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	127.07	—
2018年3月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、2018年3月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率並びに2018年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	31,830	24,808	77.9
2018年3月期	32,930	24,918	75.7

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 24,808百万円 2018年3月期 24,918百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	150.00	150.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	0.00	—	115.00	115.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	17,500	—	2,600	—	2,600	—	1,810	—	196.75
通期	34,500	12.7	4,200	△17.0	4,200	△18.2	2,860	△17.4	310.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 当社は、2018年3月期第3四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期第2四半期（累計）連結業績予想の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	9,400,000株	2018年3月期	9,400,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	200,326株	2018年3月期	200,326株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	9,199,674株	2018年3月期1Q	9,399,718株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

尚、上記予想に関する事項は添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

当第1四半期より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における連結経営成績は以下のとおりであります。なお、当社は、2018年3月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同期比については記載しておりません。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、エネルギー価格上昇等のコスト増加傾向等があったものの、好調な企業業績等を背景に雇用・所得環境が改善した他、設備投資が増加する等、堅調に推移しました。また、世界経済は、緩やかな回復基調にありますが、米国の保護貿易政策を発端とした貿易摩擦激化や金融市場の動き等により、今後の動向は不透明な状況にあり、日本経済に与える影響も懸念されます。

食品業界におきましては、人口減少傾向により、国内市場の拡大が困難となる中で、差別化によるマーケットシェアの確保、海外市場の開拓、新たな付加価値の創出や不断の食の安全性確保等への対応が求められています。

このような状況下、当社グループは、ごま油の顧客ニーズや用途多様性に着目した製品ラインナップを揃え、拡販に注力しました。

軽量で持ちやすいPET製品においては、家庭用と業務用のいずれの販路も期待できる中容量品の純正ごま油600g製品について、積極的な拡販を行いました。

また、その他、家庭用製品においては、主力製品である純正ごま油以外にも、前期11月に発売を開始した風味の強い純正ごま油濃口や、香りやくせの少ない純白ごま油等に対して、積極的な提案や広告活動を展開しています。

食品ごまにおいては、前期11月に家庭用食品ごまに強みを持つカタギ食品株式会社を子会社化したことを契機に、一部で生産体制の改善を行う等、グループ全体の生産効率の向上に取り組みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高8,692百万円、経常利益は1,668百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,168百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①ごま油事業

ごま油事業におきましては、純正ごま油PET600g製品の家庭用市場における販売が拡大した他、輸出用製品の販売も好調に推移しました。その他、公共交通機関でのステッカー広告及び雑誌メディア等を利用し、純正ごま油濃口、純白ごま油やごまら一油等の用途多様性について、訴求活動を行い、市場開拓に努めました。以上の結果、売上高は6,383百万円、セグメント利益は1,256百万円となりました。

## ②食品ごま事業

食品ごま事業におきましては、家庭用食品ごまについて、PB製品のラインナップ増加等により販売が好調に推移した他、カタギ食品株式会社の子会社化により販売数量の底上げがされました。また、グループ内の生産体制効率化の一環として、一部の外注委託作業の内製化等を行いました。以上の結果、売上高は2,297百万円、セグメント利益は333百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,100百万円減少しました。これは原材料及び貯蔵品が225百万円増加するなどの増加要因があったものの、現金及び預金が1,465百万円、商品及び製品が90百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ990百万円減少しました。これは支払手形及び買掛金が280百万円増加するなどの増加要因があったものの、賞与引当金が269百万円、役員賞与引当金が221百万円、未払法人税等が773百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ109百万円減少しました。これはその他有価証券評価差額金が67百万円、繰延ヘッジ損益が33百万円増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益1,168百万円計上と配当金の支払い1,379百万円の加減算により利益剰余金が210百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月14日に公表しました業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,108	9,642
受取手形及び売掛金	7,347	7,523
商品及び製品	1,275	1,185
仕掛品	779	800
原材料及び貯蔵品	3,434	3,660
その他	244	189
流動資産合計	24,190	23,002
固定資産		
有形固定資産	5,788	5,825
無形固定資産	173	210
投資その他の資産	2,777	2,791
固定資産合計	8,740	8,827
資産合計	32,930	31,830
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,491	2,771
未払法人税等	1,249	475
賞与引当金	397	128
役員賞与引当金	266	44
その他	2,384	2,317
流動負債合計	6,789	5,738
固定負債		
退職給付に係る負債	877	891
資産除去債務	53	53
その他	291	338
固定負債合計	1,222	1,283
負債合計	8,012	7,021
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,160	2,160
資本剰余金	3,082	3,082
利益剰余金	20,333	20,122
自己株式	△1,396	△1,396
株主資本合計	24,179	23,968
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	755	823
繰延ヘッジ損益	△16	16
その他の包括利益累計額合計	738	839
純資産合計	24,918	24,808
負債純資産合計	32,930	31,830

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	8,692
売上原価	4,618
売上総利益	4,074
販売費及び一般管理費	2,479
営業利益	1,595
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	13
為替差益	67
雑収入	4
営業外収益合計	84
営業外費用	
支払手数料	2
雑損失	0
補助金返還損	8
営業外費用合計	11
経常利益	1,668
特別利益	
固定資産売却益	60
特別利益合計	60
特別損失	
固定資産除売却損	7
特別損失合計	7
税金等調整前四半期純利益	1,721
法人税、住民税及び事業税	449
法人税等調整額	103
法人税等合計	552
四半期純利益	1,168
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,168

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

当第1四半期連結累計期間  
(自 2018年4月1日  
至 2018年6月30日)

四半期純利益	1,168
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	67
繰延ヘッジ損益	33
その他の包括利益合計	100
四半期包括利益	1,269
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,269
非支配株主に係る四半期包括利益	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

当第1四半期連結累計期間  
(自 2018年4月1日  
至 2018年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,721
減価償却費	185
賞与引当金の増減額(△は減少)	△269
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△221
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0
受取利息及び受取配当金	△13
支払手数料	2
為替差損益(△は益)	△16
有形固定資産除売却損益(△は益)	△52
売上債権の増減額(△は増加)	△175
たな卸資産の増減額(△は増加)	△155
その他の資産の増減額(△は増加)	20
仕入債務の増減額(△は減少)	275
その他の負債の増減額(△は減少)	△49
小計	1,265
利息及び配当金の受取額	73
支払手数料の支払額	△2
法人税等の支払額	△1,179
営業活動によるキャッシュ・フロー	156
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△2
有形固定資産の取得による支出	△485
無形固定資産の取得による支出	△87
有形固定資産の除却による支出	△5
有形固定資産の売却による収入	123
貸付金の回収による収入	0
保険積立金の積立による支出	△9
その他	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△472
財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△0
配当金の支払額	△1,148
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,149
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,465
現金及び現金同等物の期首残高	11,007
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,541



## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合 計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,383	2,297	8,681	10	8,692
計	6,383	2,297	8,681	10	8,692
セグメント利益	1,256	333	1,589	5	1,595

(注) 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,589
「その他」の区分の利益	5
四半期連結損益計算書の営業利益	1,595

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。